

《履修上の留意事項》精神保健福祉論 を履修済であることが望ましい。

《担当者名》 鈴木 和 suzuki_w@hoku-iryo-u.ac.jp 佐々木 敏明 (非)

【概要】

精神保健福祉論 (2年後期)の内容を踏まえ、精神保健福祉法成立までの経緯と意義について学ぶ。さらに精神保健福祉に関する制度とサービスについて精神保健福祉法を中心に理解する。

【学修目標】

- 1 現在の日本の精神保健福祉の現状を理解するため、精神保健福祉法成立までの経緯とその後の変化について知る。
- 2 ソーシャルワーカーとして実践で必要とされる知識習得のため、精神保健福祉法の概要を理解する。
- 3 ソーシャルワークの専門職として求められる状況を分析し、考察する力を身につけるために、精神保健福祉分野の課題について情報を収集し、自分の考えを述べる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	オリエンテーション	精神保健福祉士が政策や制度・施策を学ぶことの必要性とその際の視点について学ぶ	鈴木・佐々木
2	社会保障全体からみた精神保健福祉に関する制度とサービス	精神保健福祉士が知っておくべき精神保健福祉に関する制度とサービスの全体について知る	鈴木
3	精神保健福祉法の成立までの経緯	わが国における精神保健福祉の歴史 精神保健法成立までの経緯	佐々木
4	精神保健福祉法の成立までの経緯	わが国における精神保健福祉の歴史 精神保健法以降、精神保健福祉法成立まで経緯	佐々木
5	精神保健福祉法成立の意義、その後の変化	精神保健福祉法成立以降の変化 精神保健福祉法の変遷(法改正の背景と内容について知る)	鈴木
6	精神保健福祉法成立の意義、その後の変化	精神保健福祉法成立の意義について考える。 (グループワーク)	鈴木
7	精神保健福祉法の概要	精神保健福祉法の目的および対象 医療および保護 入院制度と精神保健福祉士の役割	鈴木
8	精神保健福祉法の概要	保健および福祉 精神障害者保健福祉手帳	鈴木
9	精神保健福祉法の概要	最近の動向 直近の精神保健福祉法の主な改正点 (グループワーク)	鈴木
10	世界の精神障害者福祉施策	精神科病院を廃止したイタリアのトリエステについて知り、日本との違いについて考える。	鈴木
11	精神障害者等の福祉制度	障害者基本法と精神障害者施策とのかわり	鈴木
12	精神障害者等の福祉制度	障害者総合支援法成立の背景	鈴木
13	精神障害者等の福祉制度	障害者総合支援法における精神障害者の福祉サービス	鈴木
14	本科目のまとめ	本科目で学んだ精神保健福祉に関する法律や制度、サービスを説明することができる。 (グループワーク・ロールプレイ)	三浦 由佳(特別講師) 鈴木
15	本科目のまとめ	前期授業の振り返りとまとめ 本科目で学んだ精神保健福祉に関する法律や制度、サービスを説明することができる。 (グループワーク・ロールプレイ)	三浦 由佳(特別講師) 鈴木

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

課題レポート 100%

【教科書】

日本精神保健福祉士養成校協会編集 『新・精神保健福祉士養成講座 精神保健福祉に関する制度とサービス 第6版』 中央法規（2017）

【参考書】

『社会保障の手引き 施策の概要と基礎資料 2021年度版』 中央法規

【備考】

この科目は、精神保健福祉士国家試験受験資格取得のための「精神保健福祉に関する制度とサービス」に該当する。

【学修の準備】

指定した法律の内容を調べノートにまとめる。

グループプレゼンテーションのテーマにそって必要な資料を集め、グループ討議を繰り返しながら、発表の準備をする。

毎回の授業内容を確認し、教科書、必要な資料等を事前に読んで予習しておくこと。（80分）

授業のリアクションペーパーに書いた疑問点を中心に内容を整理し学習を深める。（80分）

【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】

DP2,4

【実務経験】

鈴木 和（社会福祉士、精神保健福祉士）

佐々木 敏明（精神科ソーシャルワーカー、精神保健福祉行政）

【実務経験を活かした教育内容】

精神科医療機関や精神保健福祉行政における精神科ソーシャルワーカーとしての実務経験に基づき、実践的な教育を行う。